

BPW Newsletter JAPAN

Official Newsletter of National Federation of Business and Professional Women's Clubs of JAPAN

ワーク・ライフ・バランスを世の中の「あたりまえ」に

特定非営利活動法人 日本 BPW 連合会理事長 松原 敏美



2010.4.1
Vol.98

【特集】

連合会の国際的取り組み

CONTENTS

巻頭メッセージ
「ワーク・ライフ・バランスを
世の中の“あたりまえ”に」
理事長 松原 敏美

内閣府・BPW 共催
ワーク・ライフ・バランス推進事業
和歌山・札幌・東京

第54回国連女性の地位委員会
UN-CSW インターン派遣事業

JWLI 事業
・2009 派遣フェロー報告
・2010 フェロー応募

お知らせ
日本BPW連合会総会長崎大会

日本BPW連合会ニュースレター

発行人：松原敏美 広報委員会編集

特定非営利活動法人日本 BPW 連合会

事務局

〒151-0053

東京都渋谷区代々木 2-21-11

FKビル303

TEL.03-3348-7674

FAX.03-3348-7648

E-mail office@bpw-japan.jp

ホームページ URL

<http://www.bpw-japan.jp>

日本 BPW 連合会は、内閣府・男女共同参画推進連携会議と共催で、ワーク・ライフ・バランス-シンポジウムを全国3カ所で開催しました。(詳細は2pに掲載)

テーマは「私らしく生きるために」でした。このテーマは、「ひとりひとりが幸せな社会のために」という男女共同参画社会の目標とすることと同じものです。そして、この目標を現実のものにする考え方の1つが、「ワーク・ライフ・バランス」です。個人個人の生き方の問題でもあり、私達が構成している社会のありようの問題でもあり、経済をはじめとする日本の将来の問題でもある非常に重要な事柄です。そのことを広く一般の人に知ってもらい、一緒に考えて行動して頂こうと考え、行った事業です。

参加された方がこの問題に入りやすいように、講談や落語で、そのアウトラインを描いてもらい、シンポジウムで、ワーク・ライフ・バランスの重要性の各論に入るという目新しい構成で工夫が凝らされました。渥美雅子先生の講談は、私達を万葉の世界に引き込み、人間本来の「幸せ」とは何か、その深い意味を考えさせてくれました。幸丸師匠の落語は、笑いの中にも家族の絆は思いやりと努力で築かれるものだと分らせてくれました。

そしてシンポジウムのパネリストは、正にこのテーマのドリームチームとも言うべき方々でした。お話を総合すると、以下のようになります。

1. 個人の生活において、ワーク・ライフ・バランスを実現するかどうかは、その人の意識の問題である。人生をどう楽しみ生きるかを、自分自身で選択して考え、時間の使い方を工夫することが大切である。こうすることのメリットは、心にゆとりをもたらし、人間としての面白みを生み出し、発想の柔軟性をもたらす。
2. 男性が育児休業をとるメリットは、家族の絆を深め、自身の多様性を広げ、時間の無駄使いを防ぎ、他人に対する思いやりやコミュニケーションの質を格段にアップさせる。このことは、職業生活においても、非常に役立つことである。
3. 企業にとっても、優秀な人材(男女とも)の確保につながり、職場で「お互いさま、思いやり」の雰囲気が生れ、モチベーションアップにつながる。また、時間の使い方や段取りを先取りして考える思考パターン、システムの改善のアイデアが生まれる。
4. 社会にとっても、少子化の進行を食い止め、非婚率・離婚率の増加に歯止めをかけ、メンタルな病気による自殺者を減少させることが期待できる。

名取さんが言われたように、男性によって成し遂げられた高度成長期の成功体験を、一旦横に置かなければ、日本のこれから直面する問題は解決できないということ、肝に銘じたいと思います。

4月1日から新しい年度に入りました。連合会の新たな飛躍に向けて、皆様のさらなる御協力をお願い申し上げます。

日本 BPW 連合会・内閣府・男女共同参画推進連携会議 共催
男女の仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）推進事業



和歌山会場シンポジウム風景

【プログラム】

開催日・会場 (時間は全て 13:30～16:30)
平成 21 年 12 月 19 日(土)和歌山市役所 14F 大会議室
平成 22 年 2 月 20 日(土)札幌グランドホテル本館 2F 金枝
平成 22 年 3 月 13 日(土)女性と仕事の未来館 4F ホール

第 1 部 落語と講談で聴かせる「ワーク・ライフ・バランス」
渥美右桜左桜「万葉のナイス・パパ 山上憶良」
桂 幸丸「落語家 桂幸丸の幸丸流ワーク・ライフ・バ
ランスと創作落語「野口英世の母、野口 シカ物
語」(和歌山)、古典落語「桃太郎」(札幌・東京)

第 2 部 シンポジウム『“私らしく生きる”ために』
パネリスト

- 名取 はにわ氏(元内閣府男女共同参画局長)
 - 渥美 雅子氏(女性と仕事の未来館館長・弁護士)
 - 渥美 由喜氏(東レ経営研究所ダイバーシティ&ワークライフバランス
研究部長 少子化問題研究者 内閣府少子化
社会対策推進会議議員)
 - (和歌山)下村 修氏(和歌山県商工労働部労働政策課主査)
 - (札幌) 桑原 聡氏(株式会社エコニクス 常務取締役)
 - (東京) 堀川 佐渡氏(株式会社NTTデータ人事部ダイバーシ
ティ推進室)
- コーディネーター 日本 BPW 連合会理事長 松原敏美(弁護士)
東京会場のみ、第 1 部を、「落語」「講談」の順に実施

第一部では、講談で参加者
を万葉の世界に引き込み、
山上憶良の歌を通して人間
本来の「幸せ」とは何か、そ
の深い意味を思い起こさせ、
また落語では笑いの中にも、
三つ子の子育て経験を踏ま
えた家族の絆は思いやりと
努力で築かれるものだとい
う語り、落語が演じられ、参
加者からは、大変好評をいただきました。



桂 幸丸師匠

第二部は、3 会場共通の専門家 3 名と、各地で WLB に
取り組んでいる方の計 4 名の
パネリストで構成。



東京会場パネリスト 堀川氏

それぞれが、ご自身の取り組
みの体験談と、ワーク・ライ
フ・バランスが、生活の質の
向上だけでなく、仕事や企業
活動に大きなメリットをもたら
していることを、パワーポイン
トで、画像・データを写しなが
ら熱く語っていただきました。



札幌会場シンポジウム風景

参加者アンケートでは、この
シンポジウム内容につい
て、回答した方の 98.5%
が良かったと評価。

今後の WLB の実現に向
け、参加者一人ひとりの
心に一石を投じることが
出来たのではと思ってお
ります。

第7回 UN-CSW インターン派遣事業報告

報告者:余語三枝子(連合会副理事長)

本年度のインターン派遣事業は、選考などは大谷美紀子ヤング委員長が担当し、3名のインターンが選ばれた。その後、うち1名が、急遽、海外での緊急医療援助活動参加のために辞退となった。その後の諸手続きは平松昌子国際委員長が担当し、ニューヨーク入り後の実施については、私余語が引き継いだ。

<インターン生とともに現地体験>

2名のインターン生足立久美子さん(静岡大学)、原田未来さん(中央大学)と、柳下真知子さんと余語三枝子の4人は、CSW ベテランの平松さんのご案内で最初の数日間は行動をともにした。それ以降はそれぞれの興味関心のある本会議、NGOのワークショップを選択して各自行動することにした。インターン生2人は事前学習も十分にしており、積極的に会場に足を運び視野を広げていた。

<Global NGO Forum for Women: 北京 + 15>

2月27~28日、CSW - NGO 委員会主催 2010 NGO 女性グローバルフォーラム“北京 + 15” が、例年のブリーフィングを兼ねて開催された。1日目は Dr. Sima Samar の基調講演を皮切りに、パネル1「女性の権利の向上: 1975 ~ 2010 世界女性会議によって」、パネル2「世界の女性の状況: 暴力・健康・気候変動」があり、第2日はパネル3「世界各地の優先課題と行動」、パネル4「ジェンダー平等の実現: 平和・開発・安全・法の強化・経済危機・女性のリーダーシップ・MDGs」があり、各

パネル 4~6 人のスピーカーが発言し、その後フロアから意見、質問等が時間一杯繰り広げられた。[北京 + 10] から5年の「北京行動綱領」の実施状況と評価についての報告や、いくつかの国からは現状は一層悪くなっているという発言もあった。



(写真上: インターン生と国連本部にて)

<第54回 UN-CSW 本会議が始まって…>

3月1~12日に開催された国連本部での本会議とともに、周辺のチャーチセンターや救世軍関係施設で行われたNGO等のワークショップに精力的に参加した。

NGO関係の事前登録者 約7,000人(NGO団体300)に対し、最終的な参加者は3,000人弱であったが、このうちBPW関係者は200名近くと聞いた。第1日目の本会議冒頭に、議長が今年のCSWは“Golden Gathering”であると述べた。実際、議長団は、世界中から集まる女性たちのために、改築工事で閉鎖中の会議室を使い、さらに隣の会議室ではスクリーンで本会議を傍聴できるように手配して下さった。

<BPW International 主催ワークショップおよびBPW 関連行事に参加> BPWI のワークショップ、BPWI80周年記念祭やBPW New Yorkの総会へも全員で出席し、有意義で楽しい体験を味わった。



(BPW180周年記念祭: 左端前々会長 Antoinette Rouge)

<インターン生レポートより一部紹介>

○足立久美子さん: 3月3日国連本部-国連総会主催『国際女性デーイベント』…事務総長のスピーチでは、性的暴力、トラフィッキングの横行、また女子教育、VAW、リプロダクティブヘルスなどについて話され、ジェンダー平等への道程は長いけれど、あきらめてはいけないとの内容であった。

○原田未来さん: 3月4日NGOイベント「ジェンダーと気候変動-コペンハーゲン会議での裏話」…気候変動が健康、産業に与える影響及びそれが女性の地位にいかに関係するかを述べたかったと思われるが、パネリストの論点がぼやけて、非論理的であった。

この第54回CSW『北京 + 15』の詳細は会報41号(2010年6月発行)にご報告します。

日本BPW連合会関係 CSW54参加者
 余語三枝子(副理事長)-団長
 平松 昌子(国際委員長)
 柳下真知子(東京クラブ)
 三隅 佳子(北九州クラブ/アジア女性交流・研究フォーラム)
 吉崎 邦子(北九州クラブ/アジア女性交流・研究フォーラム)
 足立久美子(静岡大学4年)-インターン
 原田 未来(中央大学法学部3年)-インターン
 政府代表団員 大谷美紀子(ヤング委員長/東京クラブ)
 " 黒崎伸子(前会長/長崎クラブ)

2009 年度 JWLI 報告
- 日本女性指導者育成事業 -

2009 年日本 BPW 連合会による選考で派遣したフェロー4 名のみなさんから、素晴らしい報告書を頂きました。その中から、フェローの一人瀬川久恵さんの謝辞の一部を紹介します。

「日本人は学習には熱心だが、行動が乏しい。日本の社会を変革するには、非営利団体の活動が不可欠である。そのために女性がイニシアチブをとっていかねば！」という厚子 FISH 氏の熱意と FISH 財団の貢献により、このプログラムは成り立っています。実質的な運営は NPO に造形の深いシモンズ大学のデイトン教授が担当され、ボストンの多くの NPO のご協力を得て、私たちは素晴らしい研修を受けることができました。両氏には厚く御礼申し上げます。

Web of Benefit のジョアンナ・クロフォード氏はシカゴでの活動拡大、Ellis Memorial のレオ・ディレイニー氏は施設移転計画の真ただ中、Asian Task Force のリンダ・チン氏は活動費集めのパーティ準備と、大変お忙しい中、私達の研修のために時間をさいて頂きました。彼らのご尽力により、NPO 運営について学び、家庭内暴力被害者のためのシェルター・行政機関・法律事務所、社会教育の現場を見学させていただきました。さらに、シモンズ大学は、リーダー育成研修のみならず、大学の特別講義を聴講する機会を提供してくださいました。

リーダー育成研修中ご指導頂いたイグノル教授、ボストン生活全体に亘りご配慮頂いたシモンズ大学のカーター氏、知識と時間を分け与えて下さった全ての皆様に感謝申し上げます。

学んだことを今後の活動に生かし、社会のために微力を尽くすこと、自分の夢も追っていくことに取り組んでいきたいと思ひます。

別途、日本 BPW 連合会会報に報告掲載予定です。

「第1回特定非営利活動法人日本 BPW 連合会総会」
長崎大会のご案内

2010 年 6 月、NPO 法人として初めての総会を長崎で開催します。担当クラブからは、「梅雨の季節の開催となりますが、会員一同熱い思いで準備を進め、日一日と色を染める長崎の市花「あじさい」と共にお待ちしております。」のメッセージがみなさんに届いたと思います。

多数のみなさまが長崎に集まり、それぞれの会員にとって有意義な会合になることを期待しています。



日 時: 2010 年 6 月 12 日(土) 13:00 ~ (開場 12:00)
13 日(日) 9:00 閉会 12:00

会場: ロワジュールホテル長崎
長崎市大浦町 2-33 Tel:95-824-2211 Fax:095-827-1891
【参加申込み〆切】 2010 年 4 月 20 日

----- プログラム -----

- 12 日 13:00 開会式
- 13:10 第 1 部 基調講演 講師中田慶子さん
- 15:00 第 2 部 ヤングスピーチコンテスト
- 15:30 (休憩・物販)
- 16:00 第 3 部 ワークショップ(3 分科会)
 - 1. 組織拡大の戦略と活動の多様性を探る
... 新たな環境とグローバル化の中で
 - 2. 賃金格差は解消できるか
~ 同一価値労働同一賃金の原則とその先にあるもの ~
 - 3. 男性の為のワーク・ライフ・バランス推進のために
~ 幸せな男性を増やす戦略を考える ~
- 18:00 (休憩・名刺交換・物販・チェックイン)
- 18:30 セレモニー
- 19:00 懇親会 (終了予定 20:30)
- 13 日 9:00 第 1 回 NPO 法人日本 BPW 連合会総会
- 12:00 閉会

2 日目終了後、BPW 友の会総会及び懇親会も予定されています。
(詳細は関係各位に通知されます。)

【長崎大会連絡先】BPW 長崎クラブ事務局/会長 鶴田雅子
〒852-8024 長崎市花園町 7-7 つるた医院内
E-mail gakaku@fsinet.or.jp
Tel:095-861-2221 Fax:095-861-2229

2010 度 JWLI フェロー応募 研修期間は 9 月 7 日 ~ 10 月 2 日、
応募〆切予定 5 月末日で、近日中に募集を開始予定。
また、2009 年度参加報告書の別刷(日本語および英語)をご希望の方は、事務局または、本事業担当までご連絡下さい。(要送料負担)
JWLI 事業担当 黒崎伸子 メール nobuk9016@trad.ocn.ne.jp
Tel:080-3967-4022

編集後記 NL 発行にご協力いただいた皆様には大変感謝しております。
代行として最後の NL 発行が終え、ホッとしました。(黒崎/広報委員長代行)